

「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」について(第72報)
-平成26年7月5日07時42分頃の岩手県沖の地震-

地震の概要

発生日時：7月5日07時42分

マグニチュード：5.9(暫定値)

場所および深さ：岩手県沖、深さ49km(暫定値)

発震機構等：東西方向に圧力軸を持つ逆断層型(速報)

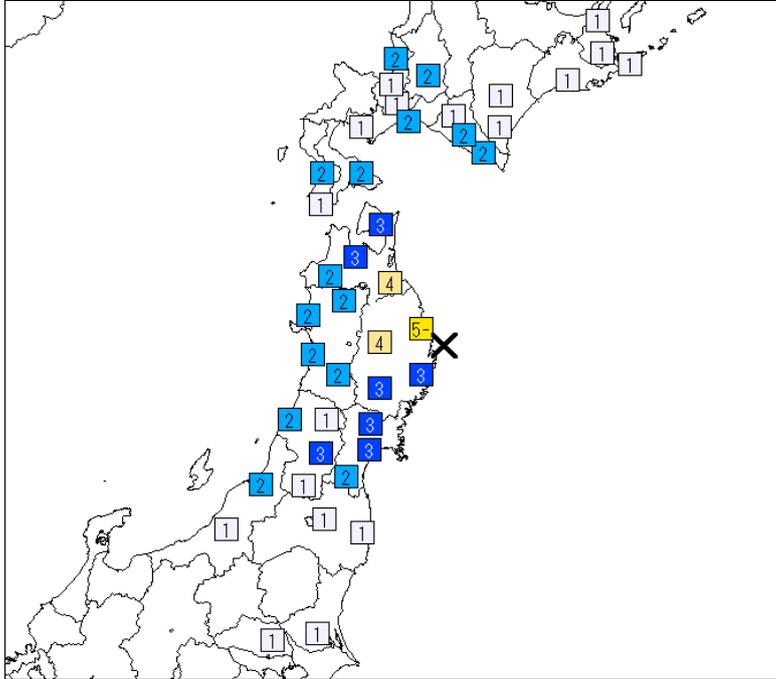
震度：【最大震度5弱】岩手県宮古市(みやこし)で震度5弱を観測したほか、東北地方を中心に、北海道から関東地方の一部、新潟県にかけて震度4～1を観測しました。

※今回の地震は「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の余震と考えられます。

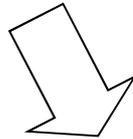
- 余震活動の状況
5日09時15分現在、震度1以上を観測した余震は発生していません。
- 防災上の留意事項
揺れの強かった地域では、今後の余震活動に注意してください。また、落石や崖崩れなどが起こりやすくなっている可能性がありますので、注意してください。
なお、この地震による津波の心配はありません。
- 緊急地震速報の発表
この地震に対し、地震検知から3.4秒後に緊急地震速報(予報)を発表しました。なお、緊急地震速報(警報)については、発表基準(最大予測震度が5弱以上)に達しなかったことから発表しておりません。

平成26年7月5日07時42分頃の岩手県沖の地震

震度分布図

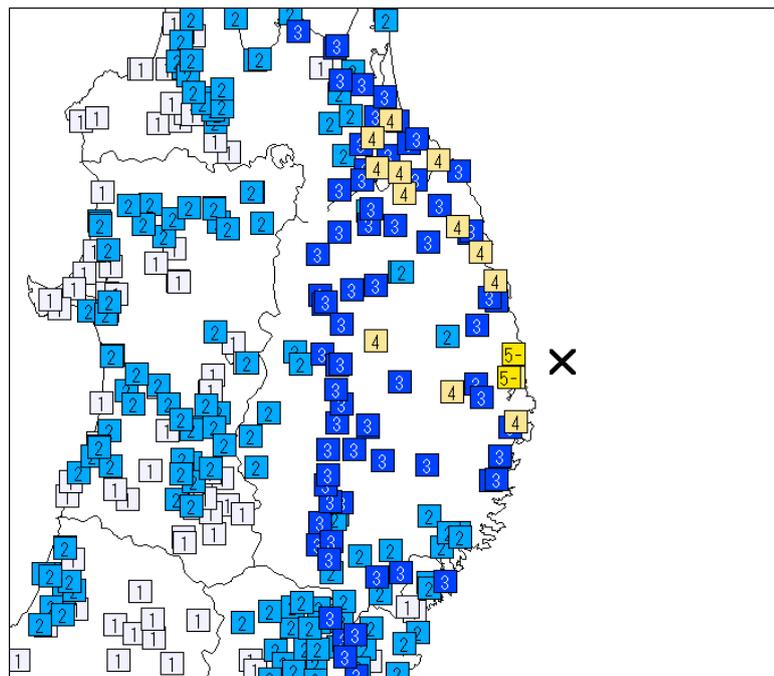


各地域の震度分布



凡例	
7	震度7
6+	震度6強
6-	震度6弱
5+	震度5強
5-	震度5弱
4	震度4
3	震度3
2	震度2
1	震度1

×:震央

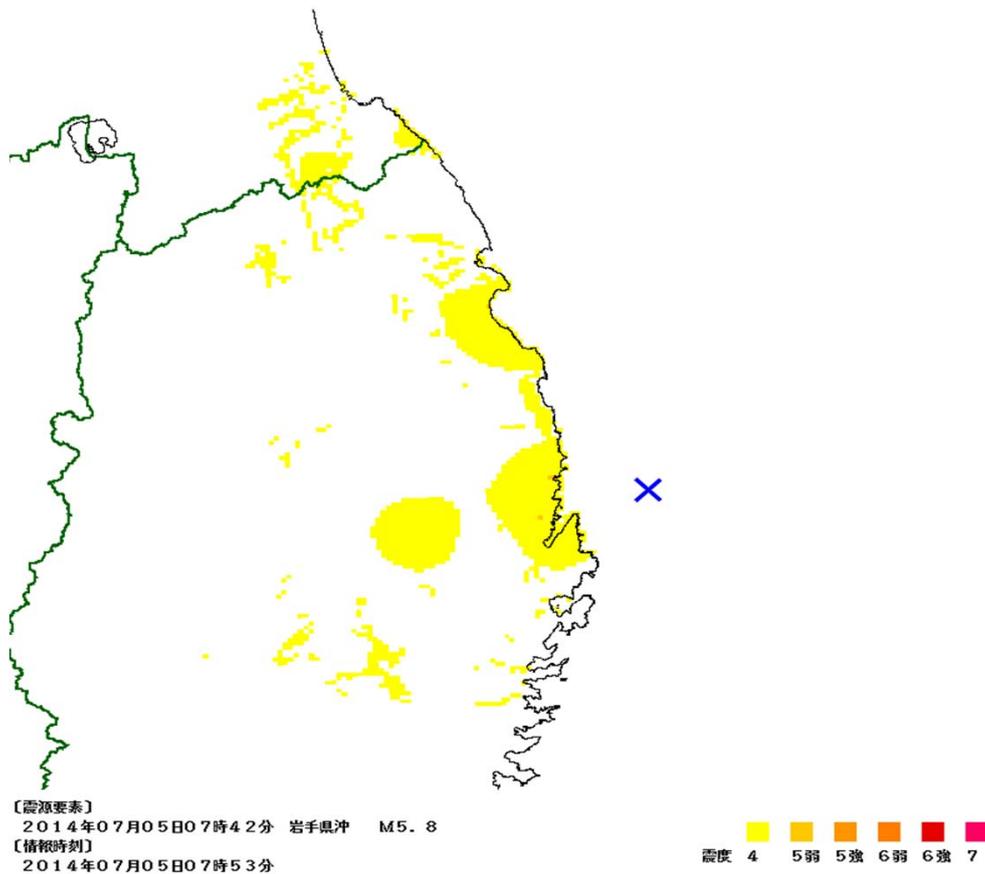


各観測点の震度分布図（震央近傍を拡大）

平成26年7月5日07時42分頃の岩手県沖の地震

推計震度分布図

0 253



【解説】

震度5弱の地域では、物が倒れたり、ガラスが割れるなどの被害が発生している可能性があります。

<推計震度分布図利用の留意事項>

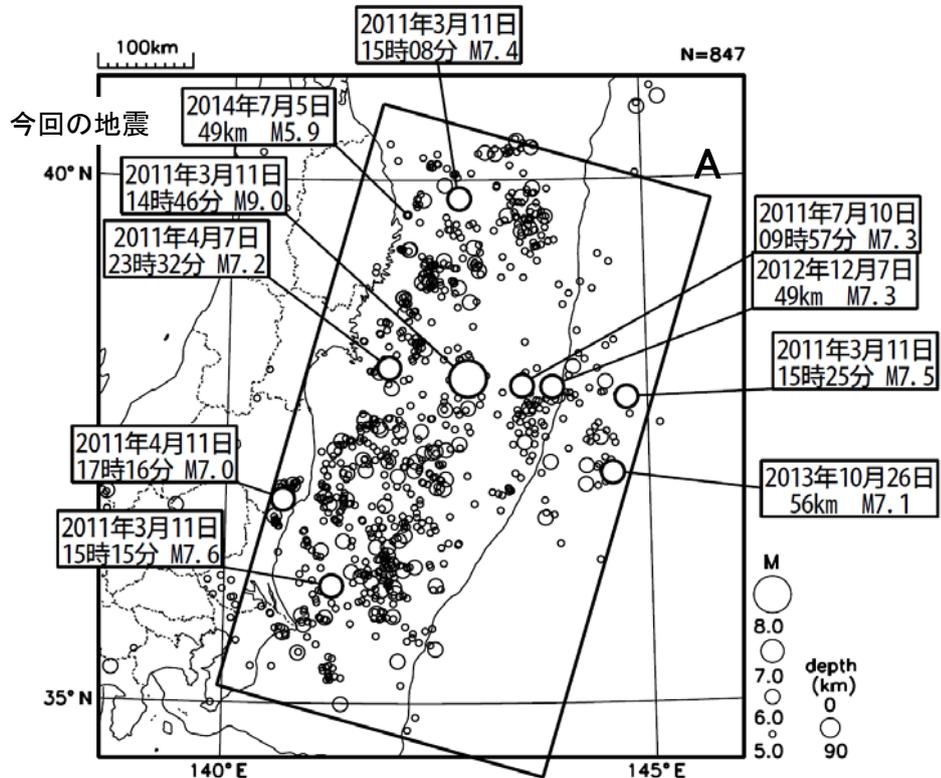
地震の際に観測される震度は、地盤の違いなどにより、ごく近い場所でも1階級程度異なることがあります。また、震度を推計する際の誤差などにより、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがあります。

推計震度分布図の利用にあたっては、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目してご利用ください。

平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震 余震の発生状況

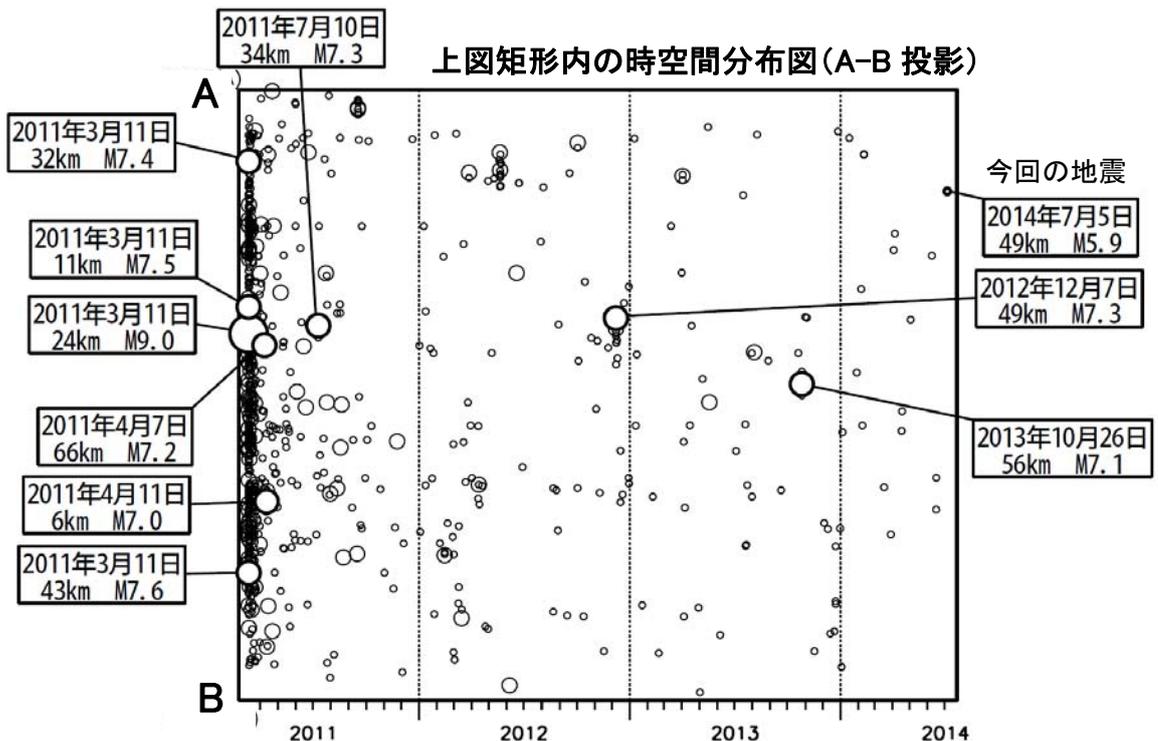
震央分布図

(2011 年 3 月 11 日 12 時 00 分 ~ 2014 年 7 月 5 日 09 時 00 分、深さ 0 ~ 90 km、 $M \geq 5.0$)



B 丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

M7.0 以上の地震と今日の2つの地震に吹き出しをつけている。



横軸は時間、縦軸は上図の A-B の範囲を示す。

発生した時刻にマグニチュードの大きさに対応した丸を示した。

気象庁作成

2014年07月05日07時42分頃の地震の発震機構解 CMT解(速報)

東西方向に圧力軸を持つ逆断層型

[C M T 解(速報)]

Mw=5.7

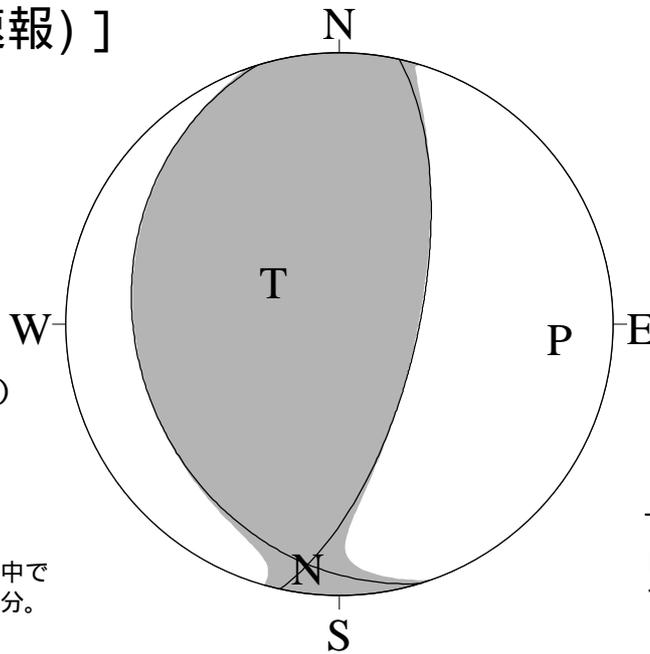
震源(セントロイド)

北緯 39度50分

東経 142度8分

深さ 約55km

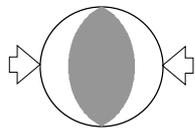
セントロイドとは、
地震を起こした断層面の中で
地震動を最も放出した部分。



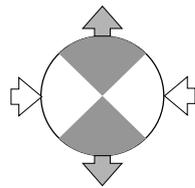
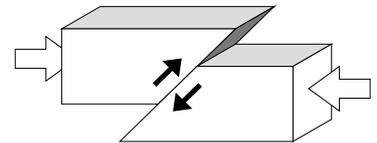
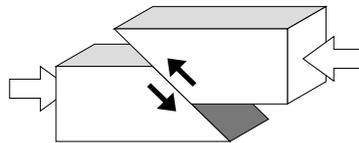
下半球等積投影法で描画
P：圧力軸の方向
T：張力軸の方向

発震機構解 [CMT解] について

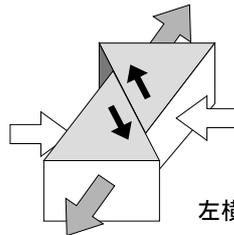
圧力軸に注目した場合の例



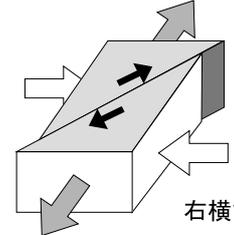
逆断層型



横ずれ断層型

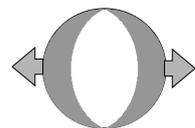


左横ずれ

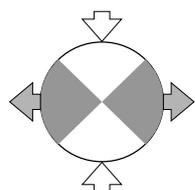
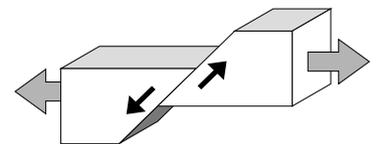
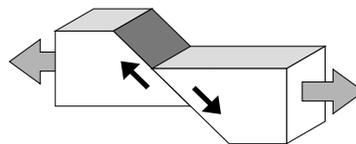


右横ずれ

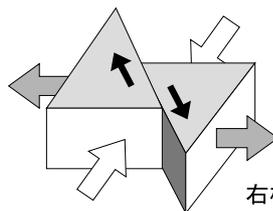
張力軸に注目した場合の例



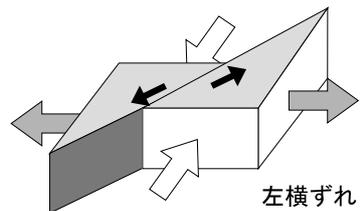
正断層型



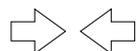
横ずれ断層型



右横ずれ



左横ずれ



圧力(押す力)



張力(引く力)



断層がずれる方向

平成 26 年 7 月 5 日 07 時 42 分頃の岩手県沖の地震 長周期地震動階級分布図

長周期地震動階級1以上が観測された地域



長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物に掴まりたいと感じる。物につかまらなと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

高層ビルにおける人の体感・行動、室内の状況等